

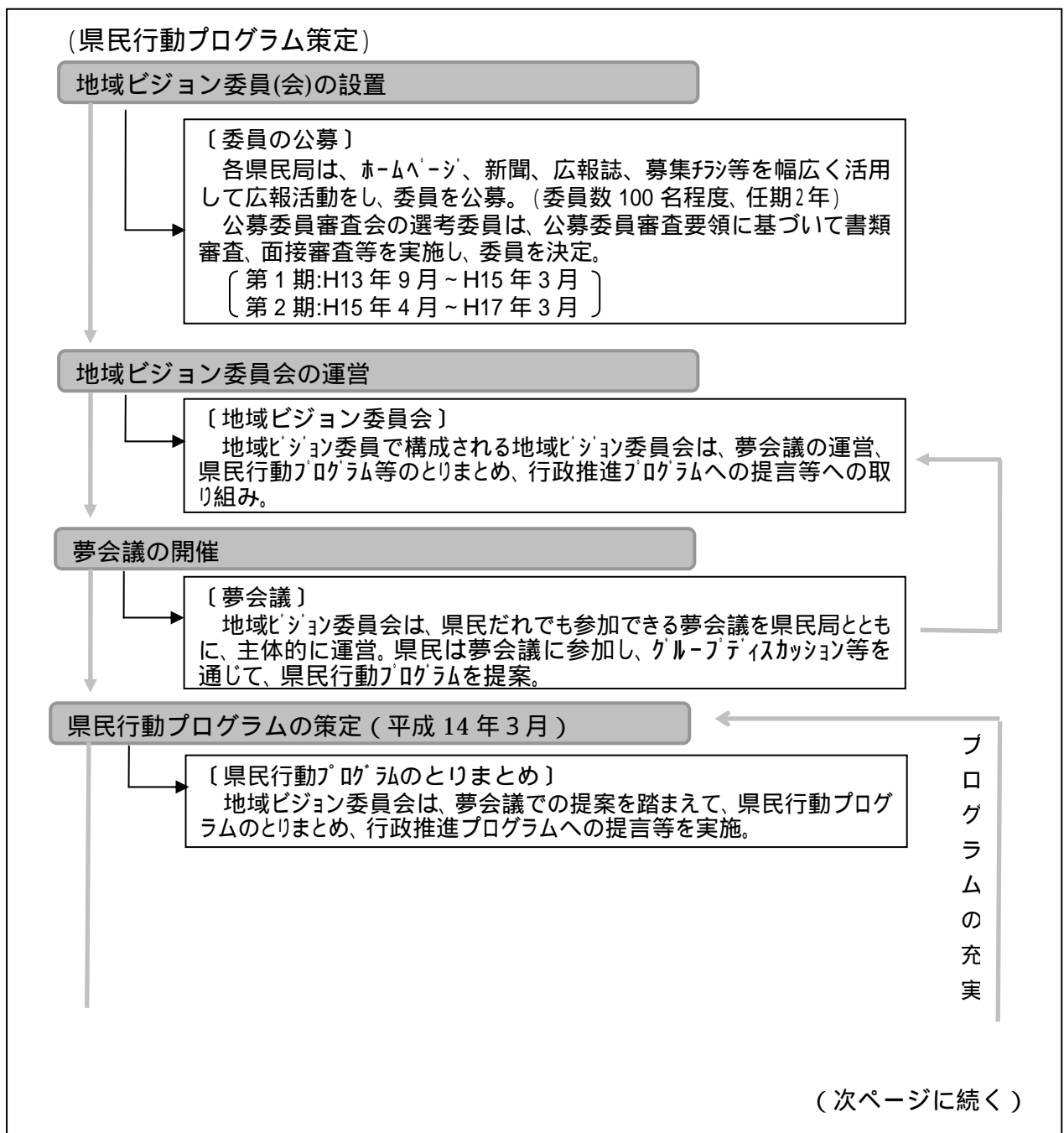
県民行動プログラムに基づく活動の促進（県民政策部）

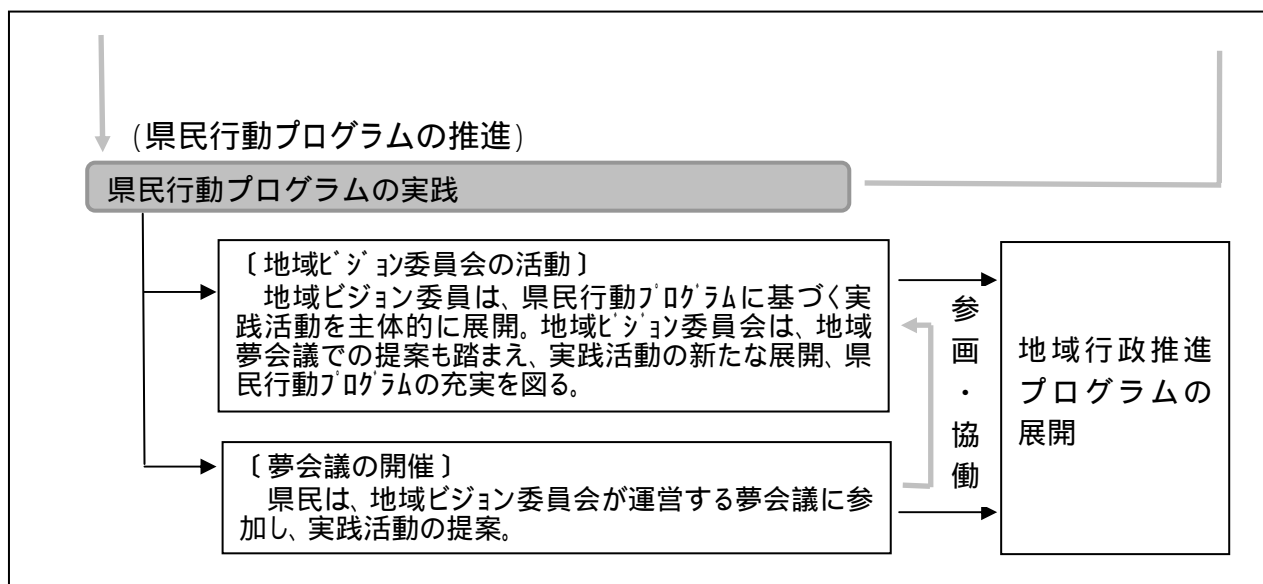
事業概要

地域ごとの個性と特色を生かし策定した地域の将来像である「地域ビジョン」の実現をめざし、県民の主体的な取り組みとして策定した「県民行動プログラム」の展開を支援します。県民局では、各種情報や議論の場の提供、関係機関との連携方策の助言などの支援のほか、中期的な施策体系である「地域行政推進プログラム」を進める中で、相互に連携しながら取り組んでいます。

参画と協働の方法

県民行動プログラムは、以下のようなサイクルで各地域がそれぞれ工夫しながら展開しています。県民局や地域ビジョン委員が協働し、事務局として会議の準備や活動支援を行っています。





今後の主な取り組み方向

(これまでの取り組みの本格的な評価・検証、次期プログラム策定への反映)

県民行動プログラムは、多くの県民の方々の参画と協働を得て、議論を積み重ね、とりまとめられました。

本格的な策定作業から5年を経過し、平成17年度までのプログラムの折り返し点を迎えたことから、各地域のビジョン委員会で、さまざまな活動の輪を拡げるとともに、プログラムの評価・検証を行っていきます。また、地域夢会議でも、これまでの取り組みを振り返り、意見交換を深めていきます。

各地域での取り組み状況

(1) 神戸県民局

「六甲山グループ」などの行政と協働した取り組み

【事業概要】

「六甲山グループ」では、行動提案「自然との共生のシンボル・私たちの六甲山を活かしましょう」の具体化として、六甲山での様々な「楽しみ方」を見つけて市民に広げていこうと、夢会議「六甲山の楽しみ発見」山上探遊ウォークの開催(3回)や、自然保護センター周辺の散策マップ作製など、県民局の地域戦略事業「六甲の楽しみ発見」と協働した取り組みを進めています。

また、第1期メンバーが結成した「六甲山自然保護センターを活用する会」では、六甲山上で毎月「六甲山魅力再発見市民セミナー」を自主開催。県民局も広報などで取り組みを支援しています。

【主な事業実績】

「自然保護センター周辺散策マップ」の制作

第2期神戸地域ビジョン委員会「六甲山グループ」では、六甲山中央地区記念碑台に位置する県立六甲山自然保護センターを拠点に、周辺の散策を楽しめるよう「自然保護センター周辺散策マップ」を企画、制作しました。制作にあたっては記念碑台の現地調査を実施し、詳細情報の確認を行った。マップには敷地内のグルーム碑などの各ポイントをわかりやすく表示し、1時間程度で歩ける散策コースでの見どころを掲載しました。

「六甲山魅力再発見市民セミナー」の開催

第1期神戸地域ビジョン委員会六甲山分科会の有志により平成14年に結成した「六甲山自然保護センターを活用する会」では、自立した運営により、毎月1回「六甲山魅力再発見市民セミナー」を開催しました。県立六甲山自然保護センターを拠点に12回開催したこのセミナーでは、六甲山の動植物・歴史・総合学習など様々なテーマで六甲山の魅力の紹介に努めました。

神戸地域夢会議「六甲山の楽しみ発見」ウォーキングへの運営協力

7月13日の「夏編」、8月24日の「夏休み親子編」、10月26日の「秋編」それぞれについて、ウォーキングでの講師(案内役)をビジョン委員や六甲山で活動に取り組んでいる県民がつとめ、参加者による「六甲山の楽しみ」情報の収集に協力しました。

夢会議「若者が見た神戸&K O B E」の開催など若い人を対象とした取り組み

【事業概要】

県民行動プログラムの取り組みを若い世代の人たちに広げていくためにも、若者たちの目で見えた神戸を知ろうと、夢会議の開催などに取り組んでいます。

【主な事業実績】

神戸地域夢会議「若者が見た神戸&K O B E」(2004年2月15日開催)
神戸を舞台に活動する大学生・留学生たちと、神戸のまちのきょう・あす

を語り合いました。

《第1部「留学生の見たK O B E」》

古くから国際性豊かで多文化が共生する神戸の魅力をもっと高めるために、「グローバルな魅力づくりグループ」では、外国人から見て神戸のいまはどうなの？と、留学生を囲み、「観光」「教育・倫理」「多文化共生・協働」をテーマにもっと伸ばしていくべきところ、改めるべき悪いところなどについて意見を交換。

日本企業の流入が母国に与えた影響や、日本が嫌いになって帰っていく留学生が多いとの指摘や、相互理解を深めるために交流の機会を増やすべきなどの意見が出されました。

《第2部「学生が見た神戸のまち(商店街)」》

若い人たちにも多く集ってもらえるまち(商店街)は？と、「神戸経済の活性化グループ」が企画。イベントの開催、ベンチャー企業の運営、まちをテーマにビデオの制作など、商店街を舞台に活動する5つの学生グループの取り組み事例を紹介。学生のもつパワーやアイデアに期待する声や、自分たちだけではできないことを地域との繋がりの中で大きく成長させていきたいという学生の意見などが交換されました。

神戸地域夢会議「六甲山の楽しみ発見(夏休み親子編)」(2003年8月24日
開催)

「六甲山グループ」では、子どもたちにとって六甲山はどんなところ？と、それぞれの「楽しみ方」を探すウォーキングを開催。巨岩の上から見下ろす街並みや苔・アオムシなど普段見られない「神戸」に歓声。

「環境・循環型社会グループ」などの取り組み

【事業概要】

第2期神戸地域ビジョン委員会では、前述の「六甲山の活性化」や「若い人を対象とした取り組み」以外にも、それぞれのグループにおいて様々なテーマへの取り組みがなされています。

「環境・循環型社会グループ」では、生ごみリサイクルをテーマに夢会議「生ごみリサイクルの現場を知る」を開催(2回)。また「高齢者が高齢者のお世話をするグループ」では、高齢者をお世話する側も高齢化してきたことに伴って、お世話する側にもやさしい介護の方法を専門家に聞く夢会議を実施。「農都・神戸づくりグループ」では、地産地消をテーマに活動を行っています。

【主な事業実績】

神戸地域夢会議「生ごみリサイクルの現場を知る」(全2回)の開催

「環境・循環型社会グループ」では、生ごみのリサイクル、とくに堆肥(たいひ)化をテーマに活動することとし、実践活動に先がけて「生ごみリサイクルの現場を知る」と題して先進事例の調査・見学を実施。第1回は店舗で出る野菜・魚などの加工くずを堆肥化し、その堆肥を使って栽培した野菜をまた店舗に戻す企業や電気・菌を使わない家庭用の堆肥化装置の開発者を訪問。第2回は、市街地で堆肥づくりから花・緑づくりに取り組む

他地域の市民グループ・NPOとの見学・交流を実施。

神戸地域夢会議「高齢者が高齢者のお世話をする」の開催

「高齢者が高齢者のお世話をするグループ」では、介護事業や婦人会・自治会などで老人介護にかかわる委員たちが集まり議論。高齢者や痴呆の方の介護方法について、プロからコツを教わるセミナーが十分には行われていないとの意見が出され、夢会議として無料セミナーを開催。セミナーでは介護の専門家から、介護方法、とくに介護用品の効率的な使用法や痴呆への対応方法、心構えなどについて実演をまじえながらのお話を聞くとともに意見交換を実施。

神戸地域夢会議「農都・神戸を訪ねる（垂水漁港編）」の開催

「農都・神戸づくりグループ」では、「地産地消」をテーマに、神戸の農業・漁業・酪農業の現地で学ぼうという夢会議「農都・神戸を訪ねる」を前年度より開催。第3回目の「垂水漁港編」では、昼せりや直売所の見学を行い、大都市でありながら漁業が盛んな神戸の特色に驚かされながら、神戸の魚を地元で消費するということについて認識を深めました。

各プログラムに対する県の支援状況

- ・ビジョン委員会、各グループ会合への職員の出席、情報提供、会合の日程調整および案内状の配布等
- ・夢会議にかかる一定の活動経費（講師謝金、バス借上料、会場使用料、消耗品等）の負担
- ・「神戸ゆめネット」（年4回発行）、「神戸地域県民行動プログラム」（第1集～第3集）にビジョン委員会の活動やビジョン委員の活動を掲載し、地域に配布することによる普及啓発、またWEB版「神戸ゆめネット」によるインターネットでのビジョン委員会活動の広報等

(2) 阪神南県民局

多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる
活動グループ間のネットワークづくり

【事業概要】

尼崎、西宮、芦屋で活動市民グループが市域を超えて様々な出会い
が出来る仕組みをめざして、ミニ夢会議という名称で活動グループ間
の交流会づくりにチャレンジしている。15年度は尼崎、芦屋で、1
6年度は3市にまたがる交流会を実施します。

【主な事業実績】

- ・平成15年9月6日(土)ミニ夢会議IN尼崎
参加者数：37名
尼崎労働福祉会館、3階中ホール、午後1時30分～午後4時00分
20のグループ31名の参加者がネットワーク化をめざして意見
交換。
- ・平成16年3月19日(金)ミニ夢会議IN芦屋
参加者数：21名
芦屋市民センター、4階中401、午後1時30分～午後3時30分
15のグループ21名の参加者がネットワーク化をめざして意見
交換

【プログラムに対する県の支援状況】

地域戦略推進費の活用(講師謝金、
宣伝印刷費、会場設営費等を助成)
県民局サポーター職員による情報提
供等



《意見交換会》

いきいきフォーラム・シニア21

【事業概要】

高齢者が元気・勇気・やる気を持ちつづけてもらおうといきいき運動
を立ち上げ杉良太郎の「ボケない音頭」に合わせた「長生き音頭」を作
った。

唄、歌詞で聴覚を、ダンスで触覚を、そして会場内にアロマをたく事
により、嗅覚(きゅうかく)を刺激して、脳の活性化を図ろうとする取り
組み。

【主な事業実績】

- <長生き音頭>発表会
1月21日(西宮市内)
参加者37名
- <長生き音頭>普及促進活動
2月9日(参加75名)
3月5日(参加45名)
3月13日(参加46名)
3月28日(参加35名)



《<長生き音頭>発表会》

【プログラムに対する県の支援状況】

地域戦略推進費の活用(講師謝金、宣伝印刷費、会場設営費等を助成)
県民局サポーター職員による情報提供等

青少年健全育成

【事業概要】

「明るい家庭、住みやすい地域を作る」ため、「家族」のあり方をテーマとし、不登校経験者の全寮制フリースクール、県立神出学園の小林剛学園長の講演とパネルディスカッションで世代を超えて協力し合える人間関係について、フォーラム等を企画、開催しました。

【主な事業実績】

- ・ 8月25日（西宮市内） 教育事務所との懇談
- ・ 12月8日 神出学園視察研修
- ・ 2月7日 10：00～12：30
青少年健全育成フォーラム、参加者数：45名
『『家族』って 何だろう？』



【プログラムに対する県の支援状況】

地域戦略推進費の活用（講師謝金、宣伝印刷費、《フォーラム開催》会場設営費等を助成）、県民局サポーター職員による情報提供等

自律と協働による温かいコミュニティをつくる

ユニバーサルデザインによるまちづくり

【事業概要】

管内3市にある駅のユニバーサルデザインに関する第1期ビジョン委員会のアンケート結果を受けて、兵庫医科大学に近い阪神武庫川駅の将来像の提案を目指すとともに、15年度は、調査活動を進めました。

【主な事業実績】～阪神武庫川駅周辺のバリアフリー化に向けて～

西宮市を訪問し、武庫川駅西側のバリアフリー化の考え方について説明を受けました。同駅に隣接する砂子療育園工事事務所を訪問し建築士の資格を持つビジョン委員を中心に意見交換しました。（重症心身障害児施設の砂子療育園の3期工事が平成15年12月終了。外部に開放した会議室の設置、玄関前のスペースにゆとりをもたせるなど地域とのコミュニケーションの強化が図られました）

【プログラムに対する県の支援状況】

会場室等の確保、印刷費等を助成しています。

芸術文化スポーツ王国づくり

【事業概要】

平成17年に完成予定の県立芸術文化センターなどで活躍出来るアーティストを育てるため県民交流コンサート（3回）などを開催し、出演者を募集して演奏の場を提供する取り組みを進めました。

【主な事業実績】

「芸術文化センターなどで活躍できるアーティスト」を育てるため諸事業を開催。

- ・ 11月7日 白鷹緑水苑
県民交流コンサート～CM音楽の世界～ 参加者数：89名



（交通バリアフリー法の学習会）



《白鷹緑水苑コンサート》

- ・ 12月4日
芸術文化センター建設事務所見学 参加者数：21名
- ・ 12月23日 白鷹緑水苑
県民交流クリスマスコンサート 参加者数：41名
- ・ 3月19日 西宮市民会館
～映画音楽の世界～ 参加者数：121名

【プログラムに対する県の支援状況】

地域戦略推進費の活用（公演の出演者謝金、宣伝印刷費、会場設営費等を助成）、県民局サポーター職員による情報提供等
阪神2号線文化街道づくりを進める

【事業概要】

国道2号線を文化街道と位置づけ、多彩な文化芸術事業をリレーで実施するため、地域ビジョン委員が中心となり、昨年9月には実行委員会を組織し、管内3市、道路沿いの企業、文化芸術家等の協力を得て、自動車販売会社者ショールーム等で音楽会を開催した。

【主な事業実績】

公演		公演日・参加者数	講演会場
芦屋公演	ソプラノ&フルート	11月10日（月） 54人	(株)服部モーター商会神戸支店
尼崎公演	オーボエ&フルート 四重奏	11月16日（日） 42人	朝日オートセンター
西宮公演	弦楽四重奏	11月22日（土） 74人	アサヒビール(株)西宮工場

【プログラムに対する県の支援状況】

地域戦略推進費の活用（公演の出演者謝金、宣伝印刷費、会場設営費等を助成）、県民局サポーター職員による情報提供等



((株)服部モーター商会神戸支店での音楽会の開催)

自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する

夢ビジョン 土地・花・緑

【事業概要】

県民行動プログラム「美しいまちづくりに向けた花と緑づくりを進めよう」「土地の有効活用に向けて調査研究を進めていこう」を推進するため、実践セミナーを中心とした事業を実施しました。

【主な事業実績】

- ・ 9月30日【花・緑班】
「生ゴミをつかった堆肥づくり」セミナー
(参加208名)
- ・ 10月29日【土地班】
学習会 - 土地活用の現状と課題 -
- ・ 10月29日【花・緑班】
「淡路景観園芸学校」等淡路島バスツアー (参加48名)
- ・ 2月27日【土地・花班】
「グリーンインテリア『テラリウム』実践セミナー」 (参加52名)



(堆肥づくりセミナーの開催)

【プログラムに対する県の支援状況】

地域戦略推進費の活用(講師謝金、宣伝印刷費、会場設営費等を助成)、
県民局サポーター職員による情報提供等

阪神環境ネットワークづくり

【事業概要】

年間テーマを「ごみ問題、川の保全、自動車の削減を念頭とした『E
COライフの推進』とし、イベントへの出展、交流会、見学会の開催な
ど、実践活動の輪を広げました。

【主な事業実績】

- ・ 8月12日施設見学、
- ・ 10月4、5日尼崎市民祭り出展・アンケート
- ・ 11月26日学習会
- ・ 1月13日猪名川上流見学・地域交流



【プログラムに対する県の支援状況】

地域戦略推進費の活用(講師謝金、宣伝
印刷費、会場設営費等を助成)、県民局
サポーター職員による情報提供等

豊かさにとぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する
21世紀の森づくりを進める

【事業概要】

尼崎21世紀の森を拠点として、西宮、芦屋の海岸沿いに人と自然の共
生出来る環境エコベルトを構築し、自然・健康・眺望・商業・産業等につ
いて、エコをテーマに見学会等を4回実施した。「ガイド班」と「マップ
班」に分かれ、阪神南地域を対象とした観光ガイド事業等の提案を検討中。

【主な事業実績】

活動日	活動内容
7月9日	尼崎の森中央緑地基本計画 策定委員会への提案
10月25日	武庫川下流浄化センター親子見学会
11月30日	ベイエリア野鳥保護区等親子見学会 (参加者数52人)
12月7日	子供の目線による意見発表会
2月11日	ボランティアガイド研修(奈良) (参加者数40人)

【プログラムに対する県の支援状況】

地域戦略推進費の活用(講師謝金、
借り上げバス代、宣伝印刷費、研修
会費、施設見学費等を助成)、県民
局サポーター職員による情報提供等



(親子見学会)

県内各地との交流会 - これからの働き方を考えていこう

【事業概要】

新しい働き方や仕事の創設を具体的に提案し、実施するための1つの方

法として「県内各地との地域間交流」によって隠された産物や人の発掘と活用を継続的に行うため、篠山城の「菱の実」など地域の資源を活かした“食”と“職”の創造セミナーを企画・実施するとともに丹波地域との交流を深めました。

【主な事業実績】

活動日	開催場所	活動内容
7月4日	尼崎市	子育て茶屋(「菱の実」料理の試食・交流)
9月27日	西宮市	“食”と“職”の創造セミナー第1回 (参加者数31人)
10月18日	尼崎市・ミナト潮江フェスタ出展	丹波地域ビジネス委員会等との交流 (参加者数32人)
11月12日	尼崎市	“食”と“職”の創造セミナー第2回 (参加者数28人)
12月14日	山南町	丹波の森夢会議トリム丹波への参加 (参加者数28人)
12月28日	丹波	丹波地域ビジネス委員会で「神楽の郷」を訪問し、意見交換
3月20日	丹波	おさん茂兵衛交流列車

【プログラムに対する県の支援状況】

地域戦略推進費の活用(講師謝金、宣伝印刷費、会場設営費等を助成)、県民局サポーター職員による情報提供等



(“食”と“職”のセミナー)

(3) 阪神北県民局

多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる

【事業概要】

「川西清和台地域の糞公害をなくそう事業」をモデル的に地元と協働実施し、「誰もが参加しやすい社会活動の促進方策(ネットワークや人材発掘等)」を検証します。

- ・小さな地域の小さな実験からはじめて、そのプロセスで「1. ネットワーク 2. 人材発掘 3. 地域と子ども」という切り口で課題を発見し、次なる実践や新たな公のしくみ等について提案。
- ・ビジョン委員分科会は、行政と市民の中間組織として活動。

【主な事業実績】

モデル事業を「プレーパークの設置活動の推進」に変更し、ビジョン委員と地域が協働して、猪名川町において「冒険広場プレーパーク」を開催したのをはじめ、地域団体の活動情報をITネットワークでつなげようと「ホームページ設置についてのアンケート」を実施し、地域のネットワークづくりの検討を進めています。

また、地域のファミリースクール、NPOなどと協働で、スポーツのすばらしさを通じ青少年の目を外に向けさせようと「第1回ドリームスポーツ」を開催したほか、21世紀における高齢者の新たなライフスタイルを考えるために、地域の方々から募集した「新しいライフスタイルの提案」の発表と意見交換の場として「高齢者ふれあいフォーラム」を開催しました。



自律と協働による温かいコミュニティをつくる

【事業概要】

“心と物のバリアフリーの実現をめざして”、次のプログラムをビジョン委員等が「まちの親善大使」となって啓発していき、多くの人の参加のもとに各地で実践していきます。

ふれあい・出あい・話し合いのあるコミュニティをつくろう
地域交流会の促進、地域社会の組織づくり、地域社会の場づくり 等
健康で安心して暮らせるコミュニティをつくろう
健康づくりの推進、高齢者・障害者(児)福祉の充実、児童福祉の充実
等
人に温かく、豊かな心をはぐくむコミュニティをつくろう
青少年の健全育成と男女共同参画社会の実現、市民文化の創造 等
安全で美しく快適なコミュニティをつくろう
まちの中に花と緑の活動、道路清掃と空き地ポイステ禁止の啓発、不法看板の撤去活動 等

【主な事業実績】

「コミュニティづくりは人と人とのふれあいから」を合言葉に、イベントを通じた温かいコミュニティづくりに向けて、「ありまふじフェスティバル実行委員会」と共催で「ふれあい健康ウォークラリー」を実施したほか、“音楽でつなごう温かい地域コミュニティの輪”をテーマに、日頃から地域コミュニティの活動としてコーラスなどに取り組む団体・グループが参加する「阪神北地域ふれあいこんさあと」を開催しました。また、高齢者のコミュニティづくりと高齢者の経験を地域コミュニティにいかすために「老人クラブの活性化」に取り組んでいます。



自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する

【事業概要】

循環型社会成立のため、生活廃棄物の減少、休耕田を活用した安全野菜の栽培、安全社会に向けた点検パトロールの実施等、自ら具体的に実践活動を進めていくための組織を立ち上げ実践していきます。

生活様式の転換 - 循環型社会・自然エネルギー利用へ

家庭や企業のゴミの減量、買い物袋持参運動 等

自然保全、環境保全型農業、森林、里山、河川の保全、再生

学習会の実施、間伐材の活用、青年や学生の参加など、活動を活性化させるための研究、検討 等

まちづくり - 都市再生 - 安全な都市社会

学習バスの実施、環境美化(公園等含む)、安全社会へ 等

【主な事業実績】

快適環境への取り組みでは、「水」「ゴミ」「都市景観(看板類)」などの問題への取り組みとして、武庫川の実態を把握する「エコバス」の実施、ゴミの減量化・再資源化に向けて管内市町のゴミ収集状況の調査、不法看板の簡易除去

の実体験などに取り組みながら、快適環境づくりを地域に普及啓発している。また、地域の小学校、コミュニティ、まちづくり委員会、JCなどととも地域ぐるみで快適環境づくりへの取り組みを進めるために「こどもと地域の環境会議」の開催に向けた準備を進めています。



豊かさにとぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する

【事業概要】

暮らしやすい、ちょっとおしゃれな、友達に来てほしい町、新しいニーズにマッチした産業のある町をめざし、ブランドを活かした名物・名産づくりや阪神北地域にフィルムコミッションを誘致する活動を進めます。

ブランドを活かした名物・名産づくりとイベント企画

- ・「宝塚」という全国ブランドを活かした名物・名産をつくる
- ・各市町それぞれのまちの名産品や名物をつくる

コミュニティ・ビジネスへの取り組み

利益より「ふれあいや生き甲斐」が活動の目的となるビジネス。市民が自律して事業を運営、行政は環境整備。

環境に対する市民の取り組み

フィルム・コミッション（F・C）を阪神北地域で推進しよう

宝塚映画の地に映画撮影等を誘致、宝塚周辺の口ケ適地と阪神北各市町の特徴ある場所を組み合わせます。

【主な事業実績】

地域経済の活性化に向け、地産地消の取り組みを進めている「道の駅いながわ」や「パスカル三田」などを現地調査するとともに、地域の見どころ、食どころ、名物、名産等を紹介する「散策ルートマップ」を作るために調査・探索に取り組んでいます。



このようなビジョン委員会の活動を広く地域に発信し、県民行動プログラムへの参画の輪を拡大するために、広報部会がビジョン委員会だより「夢じゃーなる」を編集発行しています。また、ビジョンについての理解を更に深めようとビジョン勉強会運営委員会が「ビジョン活動に関する学習会」を開催しています。



各プログラムに対する県の支援状況

県民局の支援体制

ビジョン委員会との協働の観点から、各活動グループが取り組む県民行動プログラムに関係のある参事等を責任者とする「県民行動プログラム支援部会」を設置し、グループ会議や夢会議において適宜情報提供を行うほか、実践活動や活動助成の調整等により、地域ビジョン委員会と緊密に連携をとりながら、県民行動プログラムへの協力、支援を行っています。

活動助成

ビジョン委員会及び県民行動プログラムの枠組みの強化を図る観点から、地域戦略推進費を活用した一定の活動経費（講師謝金、バス借上料、会場使用料、消耗品等）の助成を行うことにより、ビジョン委員の実践活動に対する意欲刺激を高めています。

広報

「県民だよりひょうご(地域版)」の地域ビジョン委員コーナーの掲載、ビジョン委員会だよりの拡充発行、第1期ビジョン委員会活動報告書の地域への配布等によりビジョン委員会の取り組みを広く普及啓発しています。

場所の提供（会議室等の供与）

各グループが会議・打合せを開催するのにあたり、グループの要望により県民局庁舎内の会議室をさせるなど便宜供与に努めています。

(4) 東播磨県民局

バリアフリー東播磨基準づくり

【事業概要】

住民の目線で考える東播磨の現状に即したバリアフリーの基準をつくりま
す。

【主な事業実績】

県立高砂海浜公園ほか管内7カ所で、最寄り駅から利用施設までの広い範
囲を対象にバリアフリーの実地検証を行い、課題を洗い出しました。そのな
かで、調査の対象を駅及びその周辺にしぼることとし、今年度は山電播磨町
駅等のバリアフリー調査や先進事例として新しいJR三田駅舎の視察等を行
いました。

地域に住民が気軽に集えるサロンづくり

【事業概要】

地域のなかに多世代の地域住民が交流できる場（サロン）をつくりま
す。

【主な事業実績】

開かれた学校として新設された加古川の別府西小学校で、学校、PTA 及び
ビジョン委員が協働してサロンづくりを進めており、昨年度、今年度に各1
回、地域交流イベント「別府西フェスティバル」を開催し地元住民の3世代
交流を進めてきました。

ハートランド弁論大会の開催

【事業概要】

こどもたちのやる気を引き出すため、発表の場を地域につくることを目標と
して、昨年度より中学生を対象に自由テーマによる「ハートランド弁論大会」
を開催しています。

【主な事業実績】

	開催日	開催場所
第1回ハートランド弁論大会	平成14年12月15日	稲美町立コミュニティセンター
第2回ハートランド弁論大会	平成15年10月26日	稲美町立コミュニティセンター

ハートランドぐり石ネットづくり / 市民活動サポートシステムの構築をめざして

【事業概要】

地域で行われているボランティア活動をサポートするため、サービスを提供
する人・団体とそれらのサービスを受けたい人を結びつける登録バンクを
設置運営するとともに、新しいサービスの開拓やスキルアップ研修や情報提
供など、東播磨地域におけるボランティア活動をサポートし、ネットワー
ク化を図っていきます。

【主な事業実績】

項目	内容
情報提供	・ハートランドぐり石ネットホームページの開設
登録バンク	・ぐり石ネット登録業務の試験的運営

スキルアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティアの井戸端会議」の開催（２回） ・「東播磨レクリエーション大会」の開催
サービスの開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゆっくりまったり人生工房 東播磨ちょっといいところシリーズ」冊子の発行 ・「坐禅と手打ちうどんにチャレンジ」の開催

水辺を学ぶプロジェクト

【事業概要】

東播磨地域の個性である川やため池など美しい水辺空間に学び、守るための取り組みを行うことを目的として、こどもから高齢者までを対象に水辺の自然、歴史、生物などを学習するための現地見学会等を開催するほか、県民局の重点推進事業である「いなみ野ため池ミュージアム」関連事業や別府川再生事業とも協働して、行政と地域住民との接点となるような活動を推進しています。

【主な事業実績】

加古大池現地研修会「ため池の歴史と役割」
「いなみ野歴史散歩 - 水辺のたそがれコンサート＆観月会」
「いなみ野ため池ミュージアム推進フォーラム」「峠池沼-フードフェア」参画
新井用水と峠池見学会
峠池と別府川の現地見学会
別府川再生に向けて「身近な水辺再発見」「別府川ウォーク」「身近な川を地域みんなで考えよう」

みんなでつくろう - 美しいまちを

【事業概要】

自分たちの住む地域において美しいまち（景観）・環境をつくるために、景観を阻害しているものやそれらに対する行政施策等の調査を行ったうえで、住民の参画と協働のもと行政との役割分担等も念頭におき、住民主体の活動を提案し、実践活動を担うまちづくりのリーダーを養成します。

【主な事業実績】

美しいまち（景観）の概念、それらを実現するためのツールの検討
各自自治体を実施している施策の調査
美しいまち（景観）づくり交流会（「東播磨まちづくりフォーラム」）を開催

循環社会をみざして - ゴミの削減と資源化

【事業概要】

循環型社会をめざし、住民の生活レベルでゴミの削減、エネルギーの削減を図るため、ゴミ処理の現状の把握、先進地事例の調査、住民との意見交換等をとおして、東播磨における最適なゴミ処理法を提案します。

【主な事業実績】

高砂市美化センター見学（最新の流動床式ガス化溶鉱炉）
ゴミの減量と自然エネルギーの活用をテーマに、東播磨生活科学センター地域創造市民塾「循環型社会の実現に向けて」（全５回）を開催

エコマネー導入に向けての研究

【事業概要】

地域のなかで、ボランティアな活動やサービスの価値を交換し、循環させるエコマネーの導入に向けての研究を行います。

【主な事業実績】

かがわエコマネー実験研究会が実施した、第2回、第3回“りば”流通実験に参画するとともに、新たな形態のエコマネーについて検討しました。

各プログラムに対する県の支援状況

地域戦略推進費の活用

ビジョン委員会活動や実践活動の経費を支援しています。

- 例 ・ビジョン委員会情報誌「東播磨ハートランド通信」発行
- ・「第2回ハートランド弁論大会弁論集」発行
- ・その他フォーラム等開催経費等

広報について

県民局、各市町庁舎にビジョン委員会の広報コーナーを設置し、委員会が自由に広報できるスペースを設けました。

その他の支援等

- ・ 県民行動プログラムごとに担当参事を設け、ビジョン活動と県民局施策との連携を図りました。
 - <実績> ボランティア活動ネットワーク事業と「ハートランドぐり石ネット」の共同によるホームページの開設。
- ・ ビジョン委員間の情報・意見交換の場としてメーリングリストの開設を支援しました。
- ・ ビジョン委員会の会議打ち合わせ等の活動の場として、県民局会議室を夜間休日に開放しました。

(5) 北播磨県民局

心肺蘇生法を普及させ「命の教育」を推進していこう

【事業概要】

中学生に命の大切さを考えてもらう「命の教育」を実施するとともに、心肺蘇生法の講習を行い、地域全住民が命の大切さと心肺蘇生法をマスターする仕組づくりを行います。

【主な事業実績】

- ・13 中学校(管内数 27 校)で 17 回講演会を実施 3,810 名が受講しました。
- ・講演会の内容は、富原委員が震災と地元中学生の殺人事件を端緒とする「命の大切さ」について講演した後、心肺蘇生法の実技講習会を実施しました。
- ・実技講習に当たっては、救命救急士を中心にビジョン委員もいくつかのブースを担当しました。

【プログラムに対する県の支援状況】

- ・心肺蘇生法普及マニュアル(ハンドブック)15,000 部を作成
- ・中学生から自治会、自主防災クラブを対象に配布予定

地域子どもの日をつくろう

【事業概要】

「地域子どもの日をつくろう」をテーマに、学校、家庭、地域が連携して地域での子育てを進めます。

【主な事業実績】

- ・グラウンドゴルフ大会の開催(平成 16 年 1 月 31 日)
- ・肥後の守を使おうの開催(平成 15 年 12 月 20 日)
- ・3 世代交流グラウンド大会、ゆび編み体験、肥後の守を使おう等に 2,000 余人が参加しました
- ・北播磨地域交流子どもハートランド議会の開催(平成 15 年 11 月 22 日)
子どもの観点からビジョンづくりに参加してもらう狙いから、小学 6 年生に「僕とわたしのまちづくり-大人になってやってみたいこと」を作文で応募してもらい 293 人から応募があり、内 20 人を選抜して子ども議会を開催、提案に対して各市町長から直接コメントをもらいました。

【プログラムに対する県の支援状況】

- ・各種イベント実施に対する講師謝礼や材料の購入費用
- ・北播磨地域交流子どもハートランド議会の執行経費
- ・「僕とわたしのまちづくり-大人になってやってみたいこと」作文集作成(応募者、図書館等に配布)

JR 加古川線沿線駅を交流の場に

【事業概要】

無人化している JR 加古川線の各駅を、地域住民の交流の場となるよう、各駅の立て替えや駅前の活性化事業に参画していくとともに、駅を利用した事業を展開します。

【主な事業実績】

電化に合わせての駅舎改装後に、ビジョン委員会でソフト面を推進していく予定。

【プログラムに対する県の支援状況】

- ・ 市町単位での駅改修計画や周辺整備に助成
- ・ 今後実施するイベント等経費を助成予定

歩いて見ようよ 北はりま

【事業概要】

健康促進や JR 加古川線沿線散策、自然散策などを目標に、ウォーキングをしながら仲間づくりを進め、いろいろなコースを歩くことにより北播磨を見直します。

【主な事業実績】

各市町それぞれにウォーキングコースを設定し、マップを作製しているが、その目的が健康であったり、名所散策であったりと異なっていることに着目、同じレベルでウォーキングを含んだマップづくりをおこない、24コースを設定しました。

コースの半数以上を実地調査(楽しみながら歩いている)する中で、標識があっても登山道が見つからなかったコースが発見され、地域の人々の協力を得て草刈りを行ったり、土木事務所に標識の新設を要請しました。

【プログラムに対する県の支援状況】

- ・ 歩いて見ようよ 北はりまウォーキング 24(マップ)10,000部を印刷
- ・ 県民情報センター等で配布予定

北バーン!創祭り

【事業概要】

北播磨の祭りについて調査し、結果を1冊の本にまとめ、特徴ある祭りを「きらっと北播磨 交流大舞台 2005」のイベントに取り込んでいきます。

【主な事業実績】

冊子「祭 ぎょうさん」の作成

【プログラムに対する県の支援状況】

地域戦略推進費を活用して、冊子「祭 ぎょうさん」 1,000部を印刷

女性にも住みやすい「ハートランド」をめざして

【事業概要】

男女の性別にかかわらず、職場・家庭・地域等さまざまな場面で個性と能力が発揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、その普及啓発のためのジェンダー寸劇づくりを進めています。

【主な事業実績】

ジェンダー寸劇で男女共同参画社会の実現をめざすテーマを演じ、その後意見交換や学習会につなげています。

【プログラムに対する県の支援状況】

今後セミナー開催経費を支援していきます。

街づくりタッグ推進会議

【事業概要】

菜の花プロジェクトとバイオディーゼルの活用について研究を実施するとともに、使用済みのてんぷら油を回収してバイオ燃料に転換し、公用車に利用することを目指します。スクールバスにテスト走行を依頼し、データ収集を計画しています。

【主な事業実績】

平成 16 年度から BDF 燃料によるバスの走行実験を行うための準備

【プログラムに対する県の支援状況】

地域戦略推進費を活用して、テスト走行に使用する PR 用プレートと、チラシの作成

(6) 中播磨県民局

ネットデイリレーの実施

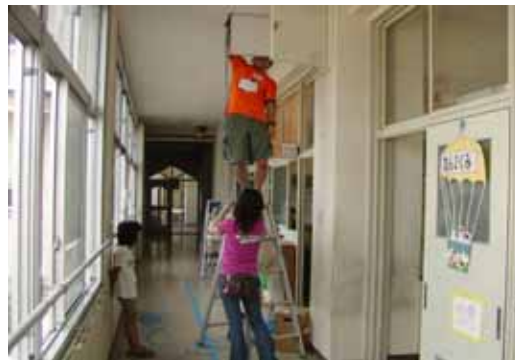
【事業概要】

地域の縁日「ネットデイ」リレーで学校や子どもたちを中心に地域内交流、異世代交流を広げます。

【主な事業実績】

「ネットデイ」の取り組みは、香寺町立香呂小学校と姫路市立城巽小学校の2校で実施しました。

また、龍野市立神岡小学校での実施支援を行うなど、周辺地域へも活動の輪を広げつつあります。



香呂小ネットデイ(15年8月)

地域の活動拠点(サロン)づくり

【事業概要】

公民館や集会所を使って、地域の住民が気軽に言葉を交わせ、ボランティアなどの情報の交差点になる拠点(サロン)づくりに取り組みます。

【主な事業実績】

福崎町で部会メンバーと地元自治会が中心になって、「八反田サロン」を企画・開催しました。

地域コミュニティ活動の促進

【事業概要】

地域のコミュニティ活動を促進するため、地域のふれあいの場づくりや高齢者等の健康づくりの支援、「3チャン消防隊」づくりなどをすすめます。

【主な事業実績】

近畿福祉大での視察研修の実施や香寺町の3チャン消防隊の実施訓練への参加などを行いました。

ゴミ減量化の普及・啓発

【事業概要】

5R(断る・再使用する・少なくする・修理して使う・再生する)による家庭ゴミ減量化を進め、地域ぐるみで環境教育に取り組みます。

【主な事業実績】

「ゴミの減量化」の普及・啓発による効果的な実施を図るため、広く学生やボランティアの協力も得ながら、ゴミ問題をテーマとする専門家と市民パネルによる公開の学習・討論会を開催する準備を進めました。

まちの魅力マップの作成

【事業概要】

住民・利用者の視点から見た地域の見どころ自慢を地域内外に情報発信していきます。

【主な事業実績】

第1期委員会で実施した「魅力再発見アンケート」などをもとに、中播磨地域の「まちの魅力マップ」の作成に向けた取り組みを進めました。

地域や団体等との連携活動

県民行動プログラムの実践活動とともに、ビジョン委員の役割の一つであるコーディネート機能の発揮による、地域団体などと連携した次のような活動が広がりました。

県事業との連携による美化活動

ビジョン委員会環境部会のメンバーが、地域の自治会やボランティア団体などに呼びかけて、県が実施している「全県花いっぱい運動」や「美化トライ事業」と連携した環境美化の取り組みを、夢前町と香寺町で実施しています。

総合防災訓練の実施

夢前町のビジョン委員が、「安全・安心のまちづくり」を地域ぐるみで進めようと、学校、自治会、町などに働きかけて、昨年が続いて今年も1月17日に小学校の校区単位で地域総合防災訓練を実施しました。あわせて、県立人と自然の博物館の協力を得て「地震」に関する講演会を実施しました。

パワーアップ事業を活用した「朝市」の企画・実施

姫路市亀山の本徳寺で、約400年前前ににぎわっていた「御坊の朝市」が、地域ビジョン委員会のメンバーのネットワークによって復活した。平成15年2月から毎月1回のペースで開かれており、地域住民の交流の場として、また新たな観光名所として定着しつつあります。15年度は、「地域団体活動パワーアップ事業」の活用によって、地域の自治会や婦人会、老人会なども参加し、活動の輪が大きく広がっています。



ビジョン委員の呼びかけによる花いっぱい運動(夢前町)



ビジョン委員の連携で復活した「御坊の朝市」

大学生との協働によるフォーラムの開催

管内の大学生が中播磨の隠れた魅力について調査・研究する「中播磨ふるさと探検隊」事業の報告会(中播磨ふるさと探検フォーラム)を共同開催し、研究成果の具体化等について検討を行いました。



中播磨ふるさと探検フォーラム(16年3月)

各プログラムに対する県の支援状況

県民局会議室の開放

県民局の会議室を、ビジョン委員会の活動をはじめ委員が所属する団体などに対して、登録により、平日はもとより夜間・休日なども利用できるよう便宜を図っています。

広報・PRコーナーの設置

県民局「地域情報センター」に、ビジョン委員会やNPO、各種ボランティア団体などの広報活動の場として、ポスター掲示板やパンフレット、リーフレット用ラックを設置し、利用に供しています。

地域ビジョン委員交流会の実施

平成15年10月に開かれた「ふれあいフェスティバル2003」において、各県民局地域ビジョン委員会に呼びかけてビジョン活動の展示ブースを設けたほか、地域ビジョン委員会活動について他地域のビジョン委員と意見交換を行う交流会を実施しました。

(7) 西播磨県民局

出る杭大会の開催・出る杭大賞の選定

【事業概要】

意欲ある人・団体の社会的認知・応援のため、西播磨フロンティア祭春のイベントにあわせ、地域ビジョン委員が実施主体となって、「第2回出る杭大会」(H15.4.29)を開催しました。

【主な事業実績】

- ・38団体が参加し、ブースでのプレゼンテーションを行うと共に、14団体が舞台でのパフォーマンスも行いました。
- ・西播磨ふるさとバザールを同時開催し、両イベントで約1万人の来場者がありました。
- ・地域ビジョン委員の代表による審査により「出る杭大賞」などを選定した。受賞団体にはビジョン委員が募金活動により集めた活動資金を副賞として贈呈しました。
- ・このイベントに、高校生のボランティアが多数参加し、会場の運営その他に活躍しました。

第2回出る杭大賞受賞団体 [参加38団体]

	受賞団体名	市町	活動分野
1	関西福祉大学「めだかのたまりば」	赤穂市	高齢者、障害者、世代間交流の場の提供
2	乃井野 田吾作会	三日月町	創作獅子舞によるまちおこし
3	いちのみや森のゼロミッション倶楽部	一宮町	炭焼き、木酢液採取、間伐材の製材・加工等

- ・「第3回出る杭大会」を、平成16年4月24日(土)に開催予定。地域ビジョン委員を中心とし、第2回出る杭大賞受賞団体との協働のもと開催に向け、企画・運営について検討・推進中です。
- ・「西播磨ふれあいの祭典2003」の会場など、各種イベントにおいて、大会参加へのPR活動を実施しました。
- ・副賞のための募金活動を継続実施中です。



【プログラムに対する県の支援状況】

大会開催経費を、地域戦略推進費により支援しました。

「西播磨の誇り」データベース(仮称)の構築

【事業概要】

西播磨の誇りを地域内外の多くの人にアピールするため、西播磨の地域資源を収集し、情報発信します。

【主な事業実績】

- ・地域ビジョン委員から寄せられた地域資源情報(約300件)の整理、検討を進め、「西播磨の誇り」データベース(仮称)を構築中です。
- ・構築中のデータベースは、地域ビジョン委員がホームページを立ち上げ、より良いものを目指し試行錯誤で発信中です。

【プログラムに対する県の支援状況】

- ・今後、西播磨ツーリズム協議会と連携して、データベースの件数・内容の充実を図るとともに、モデルコース設定等に活用を図ります。
- ・ホームページの管理、運営を支援しています。

「子育て支援マップ」（仮称）の作成

【事業概要】

「子育て支援マップ」（仮称）の作成により、子育て支援グループ等のネットワークの構築を図ります。

【主な事業実績】

- ・地域内各地で活動している「西はりま子育て応援団」との連携を図るため、合同交流会（H15.7.18）を開催しました。
- ・各団体とも個々の活動を中心に継続した活動を展開しているが、更に各団体のレベルアップを図るため、西播磨地域全体にネットワークの輪を広げます。子育て支援ネットワークの構築と子育て奮闘中の方々への支援情報の提供を目指し、地域ビジョン委員自ら各市町等へ出向き「まちの子育てひろば」等の育児支援情報の資料を収集中です。

【プログラムに対する県の支援状況】

平成16年10月発行予定の「子育て支援マップ」（仮称）の作成を、地域戦略推進費により支援します。

「環境フォーラム in あいおい」の開催

【事業概要】

豊かな清流を育む森林を保全するため、上下流住民が交流を進め、森林保全の必要性について意識啓発を進めていきます。

【主な事業実績】

千種町で山林の観察会を実施したが、今年度は、海を対象に平成16年2月29日(日)に相生湾の現状観察会を開催した。また、併せて「環境フォーラム in あいおい」と題し、西播磨各地より約70名の参加を得、上下流住民の交流を図り、意見交換等を行い森林保全に対する再認識の場としました。

千種町での植樹作業（清流千種川地域づくり会議の森）（H15.11.24）に地域ビジョン委員4人が参画しました。



【プログラムに対する県の支援状況】

啓発用チラシの作成、フォーラム開催経費を地域戦略推進費により支援しました。

西播磨統一「マイバッグ持参キャンペーン」の展開

【事業概要】

ゴミの減量化や省資源への意識を高めることを目的として、既存の取り組みをネットワークしつつ、西播磨統一「マイバッグ持参キャンペーン」を実施します。

【主な事業実績】

- ・毎月5日の「ノーレジ袋の日」運動について地元スーパー等の取り組み状況を7・8月に調査、同時に買い物客のマイバッグ持参の状況も調査しました。
- ・「出る杭大会・西播磨ふるさとバザール」（H15.4.29）で会場内のゴミ箱を追放し、約10人のメンバーがタスキがけで、来場者にゴ



- ミ持帰りを呼びかけ、成果を挙げました。
- ・その後、「西播磨ふれあいの祭典 2003」、「相生市の羅漢の里もみじ祭り」においても同様の取り組みを行い、成果を挙げています。
 - ・イベント等での啓発資料として、運動への参加を呼びかける独自のステッカーを作成しました。
 - ・婦人会等同様の取り組みを展開している団体との協力を進めるため、平成 16 年 3 月 17 日に、各団体の取組状況について情報交換会を行いました。



【プログラムに対する県の支援状況】

運動展開のための独自ステッカー作成に対し、地域戦略推進費により支援しました。

地域通貨制度（エコマネー）の導入

【事業概要】

地域におけるボランティアの輪を広げ、高齢者の介護や育児補助など多様な分野での助け合いを進めるための媒介手段として、地域通貨制度の導入について検討しています。

【主な事業実績】

- ・「第3回ひょうご地域通貨サミット in たつの」の運営に参加しました。
- ・龍野地区地域通貨「とんぼ」の実施状況を調査しました。
- ・平成 16 年 5 月に太子町において地域通貨制度に詳しい姫路工業大学：岡田眞美子教授（西播磨地域ビジョン委員会副委員長）の講演会を開催し、地域住民に地域通貨制度をアピールします。
- ・姫路市、龍野市で地域通貨制度運営に参画しているビジョン委員が中心となり、平成 16 年度、相生市、太子町でビジョン委員と地域の団体がジョイントして、地域通貨制度を実験的に立ち上げる予定です。

【プログラムに対する県の支援状況】

- ・平成 16 年度、講演会の開催を含め、地域通貨制度の立ち上げを支援する予定です。

(8) 但馬県民局

映像で但馬を発信

【事業概要】

地域の映像情報の発信等の取り組みを通して、映像やまちづくりに関心のある人の輪を広げ、映像を核にしたまちづくりを進めます。

【主な事業実績】

- ・地域の映像情報の発信

NHK「ニュース KOBÉ 発」・県民局ビデオレターへ、委員等が撮影した地域の映像情報を提供・放映（10月～）。

- ・映像鑑賞会の開催

豊岡市のクリスマスイベントの一環として、「映像で但馬を再発見」をテーマに、一般公募した作品及び夢テーブル委員が撮影したビデオの鑑賞会「たじま夢しあたあ」を開催（12/21）。

山陰海岸国立公園を世界の公園にしよう

【事業概要】

山陰海岸国立公園の学術的な価値や景観の素晴らしさを広く紹介し、国際的に認知されるための運動を進めます。

【主な事業実績】

- ・山陰海岸現地調査の実施

3回実施し約40人が参加（7/27・8/1・8/7）。

- ・映像記録の作成

現地調査等でのデータをもとに、但馬海岸誕生の経緯を紹介する映像記録を作成するとともに、写真パネルを作成しフォーラム等で展示。

- ・フォーラムの開催

国立公園指定40周年記念フォーラム「但馬海岸の謎を探る」を開催（3/28 予定）。

- ・サンケイリビングでの紹介

映像記録や活動について掲載。

巨木百選マップづくり

【事業概要】

但馬の豊かな自然を象徴する巨木に焦点を当て、巨木マップを作成し、巨木を取り巻く生態系を守り育てる意識の高揚と地域振興のための活用策を検討します。

【主な事業実績】

- ・巨木見学会の開催

各市町で8回開催し、巨木の実測、写真撮影等を実施（4月～11月・約230人参加）。

- ・巨木マップの作成

写真パネルを作成し、ふれあいの祭典等のイベントやフォーラムで展示。（財）但馬ふるさとづくり協会の支援を得て「但馬の巨木百選」を40,000部発行し、関係機関、小中学校等へ配布（3月）。

- ・セミナーの開催

巨木マップの発行を受け、「たじまの森・川・海を考える環境セミナー」を環境課と合同で開催（3/13）。

- ・サンテレビでの紹介
県政ニュース番組「週間ひょうご“夢”情報」で、活動状況、マップ発行について放映。
- ・サンケイリビングでの紹介
巨木マップや活動について掲載。

花いっぱい運動

【事業概要】

自分たちの住む自然環境について学ぶとともに、花づくりに関する研修会や活動の発表会を開催しながら、但馬らしい花の植栽・保全を進めます。

【主な事業実績】

- ・自然観察会の開催
山野草などの植生についての観察会を開催。
平成 15 年 10 月 20 日(月) 美方町小代溪谷
- ・花と緑あふれる但馬づくりフォーラムでの活動発表
平成 15 年 11 月 21 日(金) じばさん但馬 発表者：井上裕美子委員

まちづくり人フォーラムの実施

【事業概要】

「但馬を元気に！」を目標に、但馬の「人財」から学び、「人財」を紹介するためのまちづくり人フォーラムと、幼児・青少年の健全育成を図るためのまちづくり人フォーラムを開催します。

【主な事業実績】

- ・まちづくり人フォーラムの開催
「あなたに出会ってほんとによかった！ 但馬にこんなすてきな人が住んでいる！」をテーマに、第 1 期に引き続きフォーラムを開催。

	開催日	場所	参加者	発表者
第 4 回	平成 15 年 11 月 30 日 (日)	但馬長寿 の郷	8 3 名	水田喜太郎氏(入玉目ケヤキ増殖)、 森本昌氏(竹細工指導者・夢テーブル委員)、 大西恵子氏(クラシックバレエ指導者)、 高橋浩子氏(人形劇「うんぱっぱ」)
第 5 回	平成 16 年 3 月 14 日 (日)	日高町農 村環境改 善センタ ー	4 3 名	宮島久夫氏(白職人)、 吉岡敏幸氏(出石城下町を活かす会)、 木村尚子氏(パソコン指導・夢テーブル委員)、 中尾靖典氏(京口区まちづくり協議会)、 田中初美氏(女性グループ「みつくす MaMa」)

男女共同参画セミナー・フォーラムの実施

【事業概要】

男性、女性を問わず経済的自立を促進するため、年金・税制からワークスタイルを考えるセミナーを開催するとともに、家事、育児、介護等家庭内での男女の役割分担などの身近な問題を考えるフォーラムを開催します。

【主な事業実績】

- ・男女共同参画セミナーの開催

「自分の生活設計を考えてみませんか？」をテーマに、経済的自立をめざして、社会保障制度や年金、保険、税金について学び、自分の生活設計を考える3回の連続セミナーを但馬長寿の郷で開催し、講義録を作成。

	開催日	参加者数	講師
第1回	平成15年10月11日(土)	31名	社会保険労務士 桑原里美氏
第2回	平成15年11月15日(土)	30名	社会保険労務士 藤原寛子氏
第3回	平成15年12月6日(土)	27名	社会保険労務士 藤原寛子氏

障害者・高齢者・青少年を結ぶトライアングルネットワークの形成

【事業概要】

障害者の生活課題に取り組むことが住民の生活課題の解決につながるととらえ、障害者細部の課題ではなく生活者としての課題について、住民の参画と協働のもと、住民で解決できる課題については住民で対応していく体制を構築します。

【主な事業実績】

・アンケートの実施

生活課題を抱えやすい障害者支援施設、当事者団体を対象に、現状把握及びネットワークづくりに向けアンケートを実施(11月)
(対象)44施設、51団体

地域での伝統行事・民俗芸能の復活・継承への支援

【事業概要】

伝統行事・民俗芸能の復活・継承に関する情報発信や交流の場となる住民レベルの情報センターの設立(但馬文教府内)を検討するとともに、伝統行事・民俗芸能への理解を深めるフォーラムを開催します。

【主な事業実績】

・市町の伝統行事・民俗芸能の調査

各市町の伝統行事・民俗芸能の保存団体の状況等について調査(11月)

・伝統行事・民俗芸能の復活・継承をともに考えるフォーラムの開催

「伝統行事・民俗芸能の復活・継承」をテーマに、37年ぶりに復活公演された葛畑農村歌舞伎の復活までの取り組みを中心に、伝統行事等の保存・継承について考えるフォーラムを開催。

平成15年12月6日(土)・但馬文教府 参加者 72人

基調講演 片岡正光氏(兵庫県教育委員会事務局文化財室指導主事)

事例発表 西村 武氏(関宮町葛畑区長)

水野雅広氏(関宮町葛畑区文化部長)

渡邊啓介氏(宇都野神社麒麟獅子舞保存会会長・麩-川類)

トバ`イ - 久下隆史氏(但馬文教府長)

助言 村上裕道氏(兵庫県教育委員会事務局文化財室文化財係長)

ゴミゼロ但馬の実現に向けた行動の展開

【事業概要】

持続可能な循環型社会の構築をめざし、但馬地域内でのレジ袋の持参率70%を目標に、レジ袋の有料化に向けた活動を展開します。

【主な事業実績】

- ・但馬地区5R推進会議での活動発表
平成15年9月2日(火) 但東町役場 発表者：太田則之委員
- ・マイバッグキャンペーン活動への参加
但馬消費者団体連絡協議会と協力し、但馬全域で統一マイバッグ持参街頭活動に参加(10月)
- ・但馬マイバッグ持参運動推進会議の開催
マイバッグ持参のキャンペーンチラシ・ポスターの作成・配布について、但馬地域の流通業者へ協賛依頼。協賛業者 12社

環境学習団体のネットワークの形成と学習プログラムの検討

【事業概要】

安全・安心な食の確保に向け、生産者と消費者との橋渡しとなる活動を検討するとともに、環境ネットワークへの支援を検討します。

【主な事業実績】

- ・安全・安心の食の確保についての学習会の開催
食と農のフォーラムに参加するとともに、環境創造型農業に関する各種認定制度等について豊岡農業改良普及センターから説明後、生産現場を視察。
平成16年1月18日(日) じばさん但馬等
生産現場訪問： 豊岡市 小西正義氏ビニールハウス
- ・有機農業実践者を囲む会の開催
各農業改良普及センター管内から有機農業の実践者4人を招き、取組状況や課題等について意見交換。
平成16年3月6日(土) 八鹿町民会館 参加者：16人

各プログラムに対する県の支援状況

県民局の支援体制

ビジョン委員会との協働の観点から、各活動グループが取り組む県民行動プログラムに関係のある参事が、グループ会議や夢会議において適宜情報提供を行うほか、実践活動や活動助成の調整等により地域ビジョン委員会と緊密に連携をとりながら、県民行動プログラムへの協力、支援を行っています。

活動助成

ビジョン委員会及び県民行動プログラムの枠組みの強化を図る観点から、地域戦略推進費を活用した一定の活動経費の助成を行うことにより、ビジョン委員の実践活動に対する意欲刺激を高めています。

広報

「県民だよりひょうご(地域版)」の地域ビジョン委員コーナーの掲載、但馬地域ビジョン・但馬夢テ・ブル委員会コミュニケーション誌「たじま夢つうしん」等によりビジョン委員会の取り組みを広く普及啓発しています。

場所の提供(会議室等の供与)

各グループが会議・打ち合わせを開催するにあたり、グループの要望に応じて県民局庁舎等の会議室の便宜供与に努めています。

(9) 丹波県民局

情報を発信しようプロジェクト

【事業概要】

丹波地域ビジョン委員会が取り組む12のプロジェクトや、地域の団体が繰り広げる多彩な活動の状況を発信することにより情報を地域で共有し、ビジョン活動や仲間の輪を広げます。



丹波地域情報誌「きのわ」

【主な事業実績】

「きのわ」記事内容の検討等11回開催
地域ビジョン委員会の提案から生まれた
NPO法人「たんばぐみ」の情報誌「きのわ」5号(6月)、6号(10月)、
7号(12月)、8号(2月)を活用して情報発信(各5000部発行)

情報公開を考えようプロジェクト

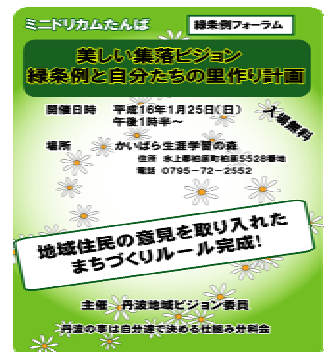
【事業概要】

「緑条例」をケーススタディーに、住民自らが自分たちの住む地区の詳細なまちづくりルールを決めるため、条例の概要や住民主体のまちづくりの方法を学び、住民の側からこの取り組みを広げることにより、「丹波のことは自分たちで決める仕組み」づくりを実現します。

【主な事業実績】

緑条例勉強会、フォーラムの打ち合せ等10回開催
緑条例フォーラム(ミドリカムたんば)「美しい集落ビジョン～緑条例と自分たちの里づくり計画～」
16年1月25日 於かいばら生涯学習の森
参加者約120人

フォーラムには、各市町職員、自治会役員、本庁まちづくり担当など幅広い参加のもと、市町も含めた行政と県民がまちづくりについて意見交換を行いました。



緑条例フォーラムチラシ

都会に近い田舎を調査しようプロジェクト

【事業概要】

ゲンジボタル・ヒメボタルや水棲(すいせい)動物等の調査を通して丹波の住民が丹波の自然をよく知ることを目指し、ヒメボタルサミットや加古川流域フォーラムなどの交流イベントを実施しながら、丹波の魅力を発見し、さらには地域内外の人と交流を深め、ネットワークを広げます。

【主な事業実績】

調査内容の検討、現地調査等 11 回開催

実施日	活動内容
7月5日	ヒメポタルサミット（山南町）で調査結果発表と各地の調査団体と交流
7月21日	人と自然の博物館、丹波農村ビオトープ連絡会等と加古川魚類調査
10月4日	人と自然の博物館、丹波農村ビオトープ連絡会で加古川魚類調査
11月30日	和田地区公民館等と共催で、ふれあいハイキングを開催



子供たちも参加した加古川魚類調査

都会に近い田舎を活用しようプロジェクト

【事業概要】

名木めぐりルートマップや丹波の農産物、里山など都会に近い田舎にある優れた資源を活用する方策を、阪神南地域ビジョン委員など丹波地域外の人たちと共に考え、特産物販売や交流拠点づくり、文化交流イベントなどを通じて、販売ルートや人のつながりをつくり、地域の活性化に結びつけます。

【主な事業実績】

具体的交流方法の検討、交流相手との意見交換等 15 回開催

実施日	活動内容
10月18日	アミング潮江フェスタ（尼崎市）に参加し黒大豆枝豆など特産物販売
12月14日	さわやかフォーラム in 丹波に神楽の郷（青垣町）、阪神南ビジョン委員が参加
12月28日	丹波、阪神南ビジョン委員合同で「神楽の郷」を訪問し意見交換
3月20日	丹波、阪神南ビジョン委員合同で近松生誕350年記念交流事業 作魅つと・作味つ都に参加・交流



アミング潮江フェスタ（尼崎市）で特産物販売

男女共同参画を実現しよう

【事業概要】

第1期で実施した住民意識調査結果を生かしたワークショップやフォーラムを実施するとともに、他の男女共同参画推進団体のフォーラム等にも積極的に参加し、ネットワークを広げながら、丹波に根ざした男女共同参画社会づくりをめざします。

【主な事業実績】

ワークショップの内容検討など17回開催

実施日	活動内容
6月14日	男女共同参画ワークショップを開催(丹波の森公苑)
9月14日	男女共同参画ワークショップを開催(ライフピアいちじま)
10月25日	「手をつなごう！男女共同参画社会を目指して」に参加(篠山市西紀支所)
11月23日	たんば男女共同参画推進フォーラムに実行委員として参加(やまなみホール)



男女共同参画ワークショップ

青少年健全育成を考えようプロジェクト

【事業概要】

丹波地域の青少年を取り巻く現状と課題を把握し、若者たちと意見交換しながら、地域で育む取り組みを考えます。

【主な事業実績】

丹波青少年本部長、丹波教育事務所長を招いて青少年問題について勉強会を実施ほか10回開催

高齢者を支えあう仕組みをつくろうプロジェクト

【事業概要】

丹波地域の集落ごとの高齢化率や高齢化進行地区を調査し、現状と問題点を把握し、アンケート等を通じて地域の実情にあった高齢者を支え合う仕組みを考えます。

【主な事業実績】

高齢化地域意識調査内容の検討ほか11回開催

丹波の森なんでも百貨店をオープンしよう

【事業概要】

第1期での朝市調査の結果を生かして、朝市や直販所のネットワークづくりめざし、直売所のPR等の運営マニュアル作りなどを通じて、併せて丹波ブランドを朝市や直売所に広げます。

【主な事業実績】

篠山農業改良普及センター職員を迎え直売所等成功事例勉強会など10回開催

丹波の食文化を発掘しよう

【事業概要】

丹波の山、野原、田畑など身近にある食材、薬草など、古来から利用してきたものを調査し、丹波の食文化を発掘し、その活用を通じて地域の活性化を目指します。

【主な事業実績】

つたの会加工部作業所の見学、食の復活サミットへの出品、参加内容の検討など12回開催。



柿酢で作ったゼリー

丹波をつなごうプロジェクト

【事業概要】

丹波木綿、丹波古道などの丹波に眠っている様々な資源を掘り起こし、丹波の昔話なども活用しながら、相互につなぎ合わせて地域活性化の方策を検討します。

【主な事業実績】

丹波木綿伝承者、篠山市役所との話し合い等18回開催

- ・16年2月14日 於篠山市民センター
食の復活サミット in 丹波(ミニドリカムたんば)
に参加し丹波木綿を広く紹介(参加者約100人)



丹波木綿の着物

地域内・男女のバリアをなくそうプロジェクト

【事業概要】

地域(集落)内の男女間や若者高齢者間のバリアに視点を置いて、集落規約や組織役員の男女比等現状を調査し、バリアをなくすようなモデル規約の作成やモデル集落による規約の検討を通じて地域内でのバリア解消を目指します。



バリアのない地域フォーラム

【主な事業実績】

自治会規約の調査・検討、バリアのない地域フォーラムの内容検討など13回開催

障害者・高齢者・外国人のバリアをなくそうプロジェクト

【事業概要】

障害者にも調査や議論に加わってもらいながら、公共施設や集客施設等のバリアフリー度を実地調査し、その結果をもとにフォーラム等を通じて、問題点を提起するとともに各設置者等への提言をまとめます。また、在日外国人とのバリアについても、NPO法人等とも連携しながら、検討していきます。



道路現場見学会

【主な事業実績】

- ・実地調査、道路現場見学会参加等 16 回開催

実施日	内 容
9月24日～ 10月20日	バリアフリー状況実地調査（車いす利用者、聴覚障害者も参加：3回）
11月27日	県土整備部主催の道路現場見学会と意見交換会に参加し改善点を提案
2月15日	バリアのない地域フォーラム ・篠山市民センター ・～多様な人が気持ちよく住める明日のために～ ひととまちのEバ-サルデザイン ・参加者約70人

各プログラムに対する県の支援状況

県民局の支援体制

- ・県民行動プログラムの推進に係る支援を行うため、丹波地域ビジョン本部を設置し、各プロジェクトの活動内容のうち業務に関係のあるものについては、担当の参事、課長等が会議等に参加して助言を行なうなど、連携を取りながら支援。

地域戦略推進費の活用

- ・各プロジェクト活動に対して一定の活動経費（講師謝金・旅費、会場使用料、消耗品等）を助成
- ・地域情報誌「きのわ」の誌面購入についても地域戦略推進費を活用

広報

- ・県民だよりひょうご（丹波版）に毎月「地域ビジョンニュースコーナー」を確保し、活動内容を県民に紹介
- ・県民局ホームページでプロジェクト活動内容をビジョン委員会活動ニュースとして発信
- ・同じものを県庁 WAN 掲示板に掲示し、管内各市町にもメールで送信
- ・実践報告書を作成し、各団体等に配布

場所の提供

- ・各プロジェクトグループの会議・打ち合わせのために庁舎内の会議室を開放

(10) 淡路県民局

地域でつくる自然ふれあい手づくり公園

【事業概要】

「人をはぐくむ島づくり」をめざして、身近にある自然の中で自由に遊べる空間をつくり、自然体験・自然観察により身近な自然の大切さを学び、淡路の自然に誇りを持つとともに、自然の中での集団遊びから生まれる「子ども社会」を甦らせ、子どもたちの知恵、体力、社会性、自主性を育みます。

【主な事業実績】

14年度に引き続き、五色町の「白巣お城の森」をモデルフィールドとして実践活動を展開。

項目	開催月	参加者	活動内容
親子で自然体験「白巣お城の森で遊ぼう2」	11月	103人	白巣城の歴史学習、竹細工、パンケーキづくりなど
「白巣お城の森を語ろうフォーラム」	12月	30人	自然ふれあい手づくり公園が地域の住民を中心に運営されることをめざし、白巣お城の森の活用策について意見交換
「白巣お城の森で遊ぼう3」～プレーパークの達人に学ぼう～	3月	46人	手づくり公園を島内全域に広げるためのプレーリーダー養成として開催



安全・安心な農水産の生産とブランド化推進

【事業概要】

「魅力ある産業を興す島づくり」をめざして、安全・安心な農水産物の生産体制を整備し、安全・安心をアピールするとともに、淡路ブランドを確立し、流通業者や消費者の理解を深め、生産量の安定を図ります。

【主な事業実績】

項目	開催月	参加者	活動内容
安全でおいしい淡路ビーフの産地探訪！トレーサビリティツアー in あわじ	11月	85名 ・淡路地域 42人 ・阪神地域 43人	食肉センター・家畜市場の見学、和牛繁殖農家・肥育農家との交流等の体験を通じ、消費者が淡路ビーフの安全性について学ぶ。
有機農業を取り入れた農村と都市の交流と講演会	10月、1月	70人	農村と都市との交流 都市の消費者・学生の稲刈り体験など
		115人	有機農業フォーラム 有識者による食の安全・安心に関する講演会



あわじ菜の花エコプロジェクト

【事業概要】

淡路花博の開催により形成された「花と緑の島」としてのイメージのもと、休耕田や棚田等に菜の花を栽培し、観光資源として活用したうえで、菜の花から菜種油を精製して特産物とするとともに、廃食用油を回収してバイオ・ディーゼル燃料(BDF)等に再生利用することにより、公共水域の保全、大気汚染防止、地球温暖化防止に取り組み、「資源循環型淡路島づくり」の実現をめざします。

【主な事業実績】

- ・ 菜の花の種子の配布を受け、花づくりグループ等により 島内各地において栽培
- ・ 五色町、東浦町において廃食用油を回収し、BDFとして精製
 (東浦町)平成15年6月から全町における家庭からの回収を実施。BDFは、月に4~5回程度生産し、公用車に使用している。
 (五色町)平成15年12月から都志地区において家庭からの回収を開始。BDFは、月に1~2回程度生産し、公用車に使用している。
- ・ 「あわじ菜の花フォーラム」の開催(平成16年3月28日)
 満開の菜の花の中、パネルディスカッションのほか、地元でとれた菜種油で揚げた天ぷら試食等のイベントを通じてプロジェクトを紹介しました。
 参加者8,000人。



淡路島フェスティバル~エンデ・ワールド~

【事業概要】

県民行動プログラムの総合的推進と、淡路の持てる力を顕在化しよみがえらせることを目的に環境立島「公園島淡路」の推進をテーマに様々な催しを行います。

【主な事業実績】

項目	開催月	参加者	内容
淡路島の自然を満喫 ~ エンデ・ワールド2003 ~	6月	172人 (島内外から)	ヤヤモモ狩り等により淡路島の豊かな自然を体感するとともに、淡路の熱い思いを語り合うことにより、淡路の魅力を島内外に発信した
若者版~エンデ・ワールド2003 in 南淡~	12月	1,000人	若者に淡路島の良さをアピールするとともに、淡路島の隠れた魅力を発見しようと開催。
~エンデ・ワールド2004~21世紀「淡路学セミナー」	2月、3月に3日間6講座	110人	地球温暖化等の環境問題について淡路島の現状を学習するとともに、自然エネルギーやバイオマスの活用等による新たな産業起しの可能性等を議論し、人と自然の豊かな調和をめざす環境立島「公園島淡路」の推進を図った。



まちぐるみ やさしいまちを知ろう調べようプラン

【事業概要】

島内の各市町や社会福祉法人等が運営・実施している福祉・医療施設や保健・福祉制度について、障害者や高齢者等の立場になって実体験等を行うことにより、その問題点を提言し、見直しを求めていきます。

【主な事業実績】

分科会において当事業を平成15年度の重点事業として位置付けて取り組むことと決定し、対象施設・調査項目について絞り込みを行いました。

平成16年度以降は調査票の作成、「ソフト面」に対する調査についての検討、調査の実施、マップ等の作成へと展開する方向です。

お気軽送迎 この指とまれ事業

【事業概要】

車を持っていない高齢者や障害者などが、気軽に地域のつどいやイベントに参加でき、いきいきと暮らせるような送迎サービスについて、市町、社会福祉協議会、ボランティアなど、関係機関に働きかけ、協力を得ながら体制をつくりまします。

【主な事業実績】

- ・ 洲本市の「うんぱんまん」や三原町の「福祉タクシー」などを把握するとともに課題を抽出しました。
- ・ 先進的に取り組んでいる埼玉県八潮市のボランティアグループ「結の会」の代表を招き、フォーラムを開催し、島内への導入の具体的方策を探りました。
- ・ 淡路民生児童委員協議会会長連絡会で事業を説明し協力を求めた。これらの結果、当事業の道路運送法上の問題等限界が明確になったので、一区切りつけることとし、今後はボランティアとしてできる範囲の協力をよびかけていくこととなりました。

なお、この事業の検討経過や成果をふまえ、当分科会の委員が外出サービスも含めたNPO組織「まあるく」を立ち上げました。

まちぐるみスポーツ・文化活動参加運動

【事業概要】

高齢者一人ひとりが、生きがいを持てるスポーツや文化活動に参加する機会を増やすことにより、高齢者の健康維持への自覚を促します。

同様に障害者の社会参加の機会を増やすことにより、社会復帰を促進します。

【主な事業実績】

当事業を平成15年度の分科会基本事業と位置付け、各委員が所属する老人会や各団体において、スポーツや文化活動への参加について呼びかけていくこととしました。また、必要に応じて、その結果について、委員から発表会を行

うことも考えています。

みんなで健康生活

【事業概要】

食生活の乱れや生活習慣病の増加を踏まえ、ビジョン委員、いずみ会、JA女性会、生活研究グループ、漁協婦人部などが中心となり、健康ひょうご21大作戦（県民運動）とリンクしながら、地域において、団体が取り組む行動指標を明確にして健康づくりに努めるとともに、健康づくりの実践活動を広めていきます。

【主な事業実績】

いずみ会、生活研究グループのメンバーとともに「食生活を考える学習会」を開催するなど、健康づくり、特に食に重点をおいた取り組みの重要性を認識しています。

このため、健康ひょうご21県民運動の行動指標を決めて、地域ビジョン委員等が所属団体に普及実践に取り組み、わからない点があればいずみ会などの協力を得るなどの方向で検討していきます。

花づくり・まちづくりの交流

【事業概要】

- ・花づくりグループと協議して花や緑の遊び方、技術の講習会、情報の提供を行います。
- ・三世代交流を図りながら花づくりグループ間の連携を強化します。
- ・花づくりを家庭からまちへ広げ、淡路島全体を花壇に見立てた花壇づくりを行います。

【主な事業実績】

- ・こころ豊かな美しい淡路推進会議、NPOあわじ緑花協会等による講習会の開催
- ・あわじ花と緑のコンクールの開催
- ・オープンガーデンの開催（6月、11月）
- ・「春は菜の花、秋はコスモス」という統一テーマによる緑花の推進の一環として、淡路島女子駅伝のコース沿道にコスモス植栽を実施
- ・「あわじ菜の花フォーラム」（平成16年3月）に向けた花づくりグループによる菜の花栽培（10月）
- ・「あわじ緑花推進交流会」の開催（3月）

どんぐり植樹大作戦

【事業概要】

- ・郷土種のどんぐりを小中学校や町内会などが中心となって各地域で育て、土取り事業者や土地所有者と共同で植栽します。
- ・育苗や植栽の際の肥料は、生ゴミからつくった有機肥料を利用します

【主な事業実績】

島内17小学校で取り組みを進めています。

子どもたちへの環境教育の充実

【事業概要】

- ・小中学校の「総合的な学習の時間」に環境教育を取り入れ、教員のほかに地球温暖化防止活動推進員や環境カウンセラーが指導にあたります。
- ・学習教材として子供向け環境マネージメントプログラム「Kids' IS014000」

を採用し、環境に関する日常生活のマネージメントを教育します。

【主な事業実績】

- ・ 淡路地域子ども環境会議や各学校の「総合的な学習の時間」、環境体験学習等において、環境カウンセラー、地球温暖化防止活動推進員と協力することにより、次代を担う子どもたちに環境の重要性を中心に普及啓発を進めています。
- ・ 小学生を対象として募集した「エコレンジャー」活動（第1回）の中で水環境保全の重要性について体験学習会を開催しました。（8月）
- ・ 「さわやか県民局」として大野小学校でゴミ問題について講習会を開催しました。（10月）
- ・ 淡路ふれあいの祭典において環境紙芝居の実演を行い、地球温暖化防止対策の重要性を子供達に伝えました。（11月）
- ・ 第2回「エコレンジャー」活動により、森をテーマにした水環境保全の体験学習を開催しました。（1月）

淡路島「地域学習」の推進

【事業概要】

淡路の歴史・文化・地場産業などを学び、愛郷心を育み、地域のリーダーとなる人材を育成します。

【主な事業実績】

- ・ 当面は、“地域でつくる自然ふれあい手づくり公園”の展開のなかでの実現をめざすこととしました。
- ・ 当県民行動プログラムを推進するためのツールとして、淡路島デザイン会議と（財）淡路21世紀協会により「淡路学読本」が発行されたため、これを活用して「淡路島「地域学習」の推進」を図ります。

地域交流センター（仮称）の設置・運営

【事業概要】

若い親子と高齢者など地域住民との交流の場となる地域交流センター（仮称）をつくり、事業の実施や情報提供を行います。

【主な事業実績】

- ・ 当面は、“地域でつくる自然ふれあい手づくり公園”の展開のなかでの実現をめざすこととしました。
- ・ 県事業で「まちの子育てひろば」が展開されており、本事業との連携した取り組みを検討します。
- ・ 一部委員により同趣旨の「子育て情報センター」の開設を準備中

淡路島の多彩な魅力の情報発信による地域産業の活性化

【事業概要】

淡路島の住民（事業者）一人一人が常に情報発信の認識を持ち、本物と認めるものや地域自慢できる「淡路ブランド」をあぶり出し、効果的な媒体を活用して住民の視線に立った情報を発信し、住民の十分な認知を得て、住民による地域の活性化行動を誘導します。

【主な事業実績】

- 1 昨年度は淡路島観光連盟などと連携してそれぞれのホームページを活用して淡路の情報発信を行ったところであり、今年度は島民自身に「淡路ブランド」の特産品を充分認識してもらい、さらに、島民一人ひとりが常に情報の発信者

であると意識して、住民の視点に立った情報発信による地域活性化行動を誘導するための媒体を作成することとしました。

- 2 本物と認めるものや地域自慢できる「淡路ブランド」を効果的な媒体を活用して情報発信することを目的とする団体である、「淡路がいちばん」制作実行委員会に積極的に参画して、冊子「淡路自慢コレクション淡路がいちばん」を作成することとし、資料収集、調査分析の上、原稿として取りまとめました。
- 3 今年度は予算上原稿作成までとし、次年度以降予算獲得状況により、必要部数を印刷の上、関係団体の会合、研修会等で活用願うとともに、島内全所帯に配布して情報発信の媒体として活用願ひ、消費拡大、地域活性化活動につなげていきます。

定年帰農者の就農支援

【事業概要】

市町、JA、地域が一丸となって帰農者等に遊休農地を斡旋（あっせん）するシステム、受け入れ態勢を整備します。

農村と都市住民との交流、棚田オーナー制度を実施・支援します。

地域で女性や高齢者等のグループをつくり、技術・経営の指導を行います。

【主な事業実績】

新規就農実践事業により、3町で7人の就農実績があります。

制度資金を利用し、新規就農者が農地取得を行いました。

農業経営者連絡協議会が会員、認定農業者等へアンケートの実施、研修会の開催、先進地調査を行い地域農業のあり方について研究しました。この結果を冊子「担い手育成への提言 淡路農業の未来を託す担い手育成プロジェクト」としてとりまとめました。

また、この内容は行政関係機関等に施策提言されました。

都市が農村に参画できる一つの手法として、「ふるさとむら会員」制度があります。

一宮町東桃川集落、五色町三野畑集落で積極的な活動がされています。

資源循環型農業の推進

【事業概要】

堆肥（たいひ）化施設の整備を促進し、良質堆肥生産・流通の推進、悪臭の除去を図ります。

生産部会並びに生産者が一丸となり、有機栽培を推進します。

JAを中心に販売体制を強化し、安全・安心な淡路ブランドの有利販売を図ります。

里山や遊休農地への放牧等により環境に配慮した畜産経営を推進します。

【主な事業実績】

野菜残さ処理システムの構築については、三原郡農業振興協議会で検討中であり、「バイオマス利活用フロンティア推進事業」を活用することで検討を行いました。

畜産農家の堆肥化施設については、さわやか畜産確立対策事業等で順次計画的に整備を行います。

「ひょうご安心ブランド農産物」の生産を品目数増加を含め推進しています。

ビジョン委員が所属する五色町合鴨研究会主催の有機農業フォーラムへ支

援を行い、農村と都市との交流事業を行いました。（参加者数約120人）

海洋ごみの処理システムの確立と回収作業の実施

【事業概要】

県民局が中心となり、回収袋の配布、分別のルール化、回収活動助成金の設定、ごみ集積場所の指定等、海洋ごみの処理システムをつくります。

漁協等が各浜の回収の取り組み体制を決定し実施するとともに、管理を行います。

【主な事業実績】

海洋ごみの処理システムを作ることが先決であるが、漁協等と沿海市町との協議の場を設定するように努めます。

県民局、（社）瀬戸内海環境保全協会が行っている海洋漂着ごみの実態調査にビジョン委員、担当者がボランティア参加し、調査協力を行うことで現状の把握に努めました。この課題は、県民推進プログラムとの一体的な検討が必要であり、時に回収後の処理に対する沿海市町の理解と支援が必要です。

既存道路を活かした安全で安心な自転車歩行者道のルート推進隊

【事業概要】

観光拠点や学校と地域を結ぶルート等の現地を調査し提案します。
歩行者、自転車の安全性と快適性の向上をめざします。

【主な事業実績】

「道グループ」を中心に平成14年7月～9月に現地調査（4ルート）を自転車で実施。第1回は、洲本実業高等学校東浦校の生徒の参加を得て実施。日常的に自転車を利用している人の視点で道路を観察でき、自動車ではわからない危険箇所や歩道が切れているのに横断歩道がない箇所も見受けられました。さまざまな課題及び素晴らしい景観などを把握、貴重な資料が集まった。淡路島フェスティバルでは、調査結果をパネル展示しました。

県民局での調査などとあわせて、とりまとめ「あわじ自然歴史回廊」のルート案、整備計画案を作成しました。

分科会委員による自転車での現地調査を2回（平成15年10月18日に都志～西淡・10月25日に洲本～生石公園）行い、自転車利用者の視点で現地調査を行いました。

歩道の段差、通行の支障となる植栽、歩行者・自転車通行の危険性、自転車待避所設置案等、様々な提言を行いました。

わかりやすく、美しい案内標識をめざす調査隊

【事業概要】

- ・わかりやすく、美しい案内標識・看板に向けた調査と提案を行います。
- ・案内看板等の改善により、淡路島の来島者に良い印象を与えます。

【主な事業実績】

「既存道路を活かした安全で安心な自転車歩行者道のルート推進隊」の活動を優先的に取り組んできました。

分科会委員による自転車での現地調査を2回（平成15年10月18日に都志～西淡・10月25日に洲本～生石公園）行い、自転車利用者の視点で自転車歩行者道の現地調査を行いました。

公共施設関係の看板は適切である、“南淡路水仙ラインの看板”のような看板が良いがまだ少ない、など様々な提言を行いました。

あわじのマップづくり

【事業概要】

淡路の花、ひと、道、風景（風土）をマップにまとめます。

マップづくりが、淡路をあらためてよく知ることにつながり、多方面に役立つ情報源ともなります。

【主な事業実績】

「社会基盤分科会」では、公共性の高いものを取り扱うのではなく、個人レベルのものを扱ってはどうか」という専門員のアドバイスもあり、「花グループ」を中心に、マップのテーマである「はな」「ひと」「みち」「風景（風土）」などのうち「はな」の花木に絞って調査活動を行いました。淡路島の地域性、個性などを見いだせる花木の情報をホームページ、マップ、冊子などで発信することめざしている。そのための情報収集活動、会合を行っています。淡路島フェスティバルでは、収集資料の一部をパネル展示しました。

しかし、花を生かして地域の活性化につなげるという本来のビジョンの趣旨から少し外れてきたきらいもあり、今回のマップづくりの役割、機能を明確にしておく必要を感じるという意見もでています。

自転車による現地調査（平成 15 年 10 月 18 日に都志～西淡・10 月 25 日に洲本～生石公園）また、淡路島の公園の現状調査（平成 15 年 11 月 29 日に佐野運動公園・園芸学校・ガーデンファームちひろ・緑の道しるべ（淡路西岸））を行いました。

各プログラムに対する県の支援状況

県民局の支援体制

淡路地域ビジョン委員会では、地域ビジョンを進めるため、6つの分科会を設置し、実践活動を展開しています。

これらの分科会においては、県民局の関係各課が事務局としてビジョン委員に情報提供を行うほか、実践活動や活動助成の調整等によりビジョン委員会と連携を図りながら、協力・支援を行っています。

活動助成

県民行動プログラムの実践活動の展開を図るため、地域戦略推進費等を活用した活動経費の助成を行っている。（講師謝金、会場使用料、印刷費等）

広報

地域ビジョン広報誌「あわじ環境立島ニュース」や「県民だよりひょうご（地域版）」など各種広報誌を活用し、ビジョン委員会の取り組みを普及・啓発しています。

場所の提供

各分科会の会議・打ち合わせの開催にあたり、県民局庁舎内の会議室を提供するなどの便宜を図っています。